

2019年度事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

1 事業の成果

- (1) 第37回学術大会は4,700名の参加があった。また地方主要都市での支部学術大会6回、支部別認定医教育研修会6回と支部主催認定研修会1回が開催され、2,200名の参加があった。
- (2) 学会誌を2回、広報誌（ニュースレター、Who's who）を3回発行、会員向け・国民向けホームページで広報活動を行った。
- (3) 認定教育研修、新規任用、資格の更新等の事業を活発に行ったことにより、期末の在籍数は指導医217名、認定医3,042名、指導歯科技工士30名、認定歯科技工士289名、指導歯科衛生士18名、認定歯科衛生士465名となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
顎咬合学に関する学術大会の開催事業	第37回学術大会を開催。「真・顎咬合学 最新歯科医療最前線—夢ある歯科界の再構築」というテーマで、講演と治療の実技指導を行った。	2019年 6月22日 23日	東京国際フォーラム	500名	歯科・口腔衛生関係者 4,700名	86,085
市民公開講座等による一般市民を対象にした咬み合わせに関する社会教育活動事業	公開フォーラムを「自立支援歯科学」「認知症/寝たきりを変える『食べる力』」「スポーツ歯学におけるサポート」のテーマで開催した。	2019年 6月22日 23日	東京国際フォーラム	500名	歯科・口腔衛生関係者 一般参加者 800名	4,030
顎咬合学に関する会誌及び会報の発行事業	学会誌「咬み合わせの科学」及びニュースレター「Who's who」の発行を通して、知識・技術の普及、情報公開及び社会教育活動を行った。	学会誌： 39巻1・2号 5月 39巻3号 12月 Who's who： 5月 ニュースレター： No.82 9月 No.83 1月	事務局 (委員会)	30名	歯科・口腔衛生関係者 大学・図書館等 8,500名	30,668
顎咬合学に関する指導医・認定医、指導・認定歯科技工士、指導・認定歯科衛生士を認定する事業	指導医・認定医・指導歯科技工士・認定歯科技工士・指導歯科衛生士・認定歯科衛生士資格の査定更新、新規認定試験の実施等を行った。	認定医・認定歯科技工士・認定歯科衛生士 検定試験 2019年 4月7日	事務局 (委員会)	40名	指導(医・技工士・衛生士)、認定(医・技工士・衛生士) 更新：1,445名 指導医、認定医、認定技工士、認定衛生士 新規：137名	13,912
顎咬合学に関する研究会、研修会の開催	「心地よく咬むために土台を作る—ペリオを極める—」をテーマとし、各支部にて歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士への最新知識の付与を行った。	各都市1回 計6回	全国 主要都市	300名	歯科・口腔衛生関係者 653人	7,935

顎咬合学に関する教育講演会の開催事業	支部学術大会及び第 19 回咬合フォーラムを開催した。	支部学術大会：各都市 1 回 計 6 回 咬合フォーラム：2019 年 9 月 29 日	支部学術大会：全国主要都市咬合フォーラム：札幌	650 名	歯科・口腔衛生関係者 1,700 人	22,360
咬み合わせ及び関連領域の臨床疾病調査事業	咬合スコア縦断調査の集計、検討。 九州大学歯学部と共同で臨床データの調査、研究。	随時	事務局 (委員会)	10 名	歯科・口腔衛生関係者 大学等 不特定多数	129
咬み合わせに関する広報・啓蒙活動並びに情報提供事業	噛むことの重要性を広く国民に伝えることを目的とした講演活動を展開した。 会員向け・国民向けホームページ等を通して活動内容の紹介、咬合の知識及び口腔衛生思想の向上、普及を行った。	随時	事務局 (委員会)	10 名	一般市民のホームページ利用者 不特定多数	2,377
関係団体、諸学会との協力、連携	海外有識者とのコンタクト、国内関連学会との協賛、関連団体への協力を行った。	随時	事務局 (委員会)	10 名	歯科・口腔衛生関係者 大学等 不特定多数	75

(2) その他の事業

会誌への広告掲載事業	会誌への広告の掲載を行った。	2019 4 月、11 月	事務局 (委員会)	10 名	歯科・口腔衛生関係者 大学等	0
------------	----------------	------------------	--------------	------	-------------------	---